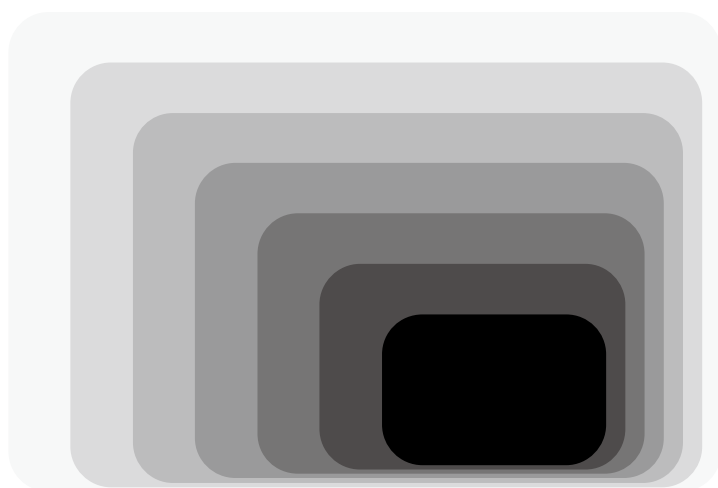


梱包機 D55



取扱説明書

重要

本書に記載されている重要安全事項の部分は、本製品をご使用の前によくお読みになり正しく安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。
本書を追加ご希望の場合は、弊社の代理店または営業所にお問い合わせください。



Strapack®

518-1A-03001-03

2012-8

目次

はじめに	1
標準付属品	1
安全上のご注意 《必ずお守りください》	2, 3
警告ラベル/各部の名称と役割	4
操作スイッチの説明、表示ランプの説明、機械内蔵ダイヤル等の説明	5
ヒューズの説明、引締め方式の説明、バンドコイルのセット	6
バンドの通し方/バンドの抜き方、操作方法	7
ヒーター温度の調節	8
最小引締め力の調整、使用バンド幅変更に伴う調整	9
正転タッチ圧の調整、逆転タッチ圧の調整、溶着時間延長の説明	10
詰まったバンドの除去、機械内蔵スイッチの説明	11
故障かな？と思ったら	12

はじめに

この度は、弊社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

ご採用いただきました製品を効率良く活用していただくためには、日常のお手入れや取扱い方が本機の調子を左右いたしますので、本書をよくお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

また、シーリングチェックカード(付属品)もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

標準付属品

取扱説明書(本書)	1 冊
保証書・ご安心保険申込書	1 部
返信用封筒	1 部
シーリングチェックカード	1 枚
アフターサービス料金表	1 枚
付属工具	1 式

安全上のご注意 《必ずお守りください》

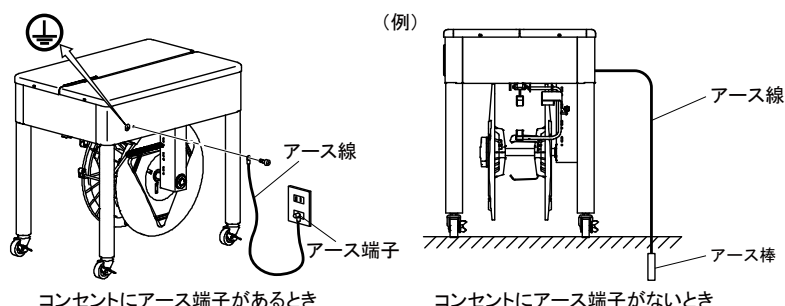
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険（火災、感電事故など）が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険（火災、感電事故など）が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

据付け時のご注意

- ◎ 電源コードは、人やフォークリフト等が踏むような場所を避けて配置してください。コードの被覆が破れて、感電の原因になります。
- ◎ 電源コードは、バンドやバンドコイルに接触するおそれがないように配置してください。走行するバンドや回転するバンドコイルにコードが接触すると、コードの被覆が破れて、感電の原因になります。破損した場合は、速やかに交換してください。
- ◎ 水や油のかかる場所に、置かないでください。内部の電装品に水や油がかかると、感電・漏電・故障の原因になります。
- ◎ 使用環境温度-10℃～+40℃の範囲に、設置してください。低温倉庫・急激な温度変化の起こる場所・気温が高い場所に、置かないでください。低温環境では、内部の電装品が氷結・結露し、感電・漏電・故障の原因となり、高温環境では、熱による故障の原因になります。
- ◎ 濡れた手で、電源プラグの差込み・引抜きをしないでください。感電やけがの原因になります。
- ◎ 設置するときは、必ず漏電ブレーカーに接続されたコンセントに電源プラグを差込んでください。
- ◎ 移動するとき以外は、接触事故防止のためキャスターのストッパーを必ずロックしてください。
- ◎ 移動するときは、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。
- ◎ 電源コードを引いて、移動しないでください。電源コード断線の原因になります。
- ◎ キャスター付の機械を移動するときは、押して移動してください。引いて移動すると足がキャスター等に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ◎ 本機を改造しないでください。改造すると誤作動を起こし、けがの原因になります。また、本機を破損させるおそれがあります。
- ◎  **アースについて**
本機をお使いになるときは、必ずアース線を接続してください。アース線を接続・取外しするときは、必ず電源プラグを抜いてください。付属のアース線を、本体背面にあるアース端子と、コンセントのアース端子に接続して固定してください。（アース線は、付属工具の中に入っています。）
コンセントにアース端子がないときは、接地工事が必要です。アース棒を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は資格が必要です。最寄の電気工事店（有料）にご相談ください。
●アース線は、ガス管・水道管・電話・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。





注意

- ◎ 電源コードは、所定のコードをお使いください。
- ◎ 移動するときは、電源プラグを抜いて電源コードをまとめておいてください。
- ◎ 移動する路面に段差・溝等があるときは、本機を持ち上げて通過してください。

使用上のご注意



危険

- ◎ 作動中は、上面のテーブル・パネル類を絶対に開けないでください。機械駆動部に触れると、けがの原因になります。
- ◎ 内部の部品に触れると、感電・けが・火傷の原因になります。



警告

- ◎ 本機は、品物を梱包する以外の目的で使用しないでください。
- ◎ バンド接着部のヒーターは、電源スイッチを『切』にしてもしばらく熱が残りますので、冷めるまで触れないでください。
- ◎ バンド先端を、バンド挿入口に差込むと自動的にバンドが機械内部に引込まれます。引込み始めたら、すばやくバンドから手を放してください。けがの原因になります。また、作動中はバンドに触れないでください。バンドと品物のあいだに挟まれて、けがの原因になります。
- ◎ バンドまたは回転するバンドコイルを手で持って、あるいはそれらにからだや衣服が触れている状態で、操作パネルのスイッチを操作しないでください。バンドが高速で走行しているため、けがや火傷の原因になります。
- ◎ 梱包したバンドを持って、品物を運んだり強く引張らないでください。バンドが切れたりゆるみが生じ、品物が落下して、破損やけがの原因になります。
- ◎ 作動中は、接着部に手を触れないでください。火傷や機械に挟まれて、けがの原因になります。
- ◎ バンドで手を切ることがあります。バンドの取扱いには注意してください。
- ◎ 修理・点検・清掃のときは、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。
- ◎ 修理・調整は、本機を十分に理解した人が、おこなってください。
- ◎ 本機を改造しないでください。改造すると誤作動を起こし、けがの原因になります。また、本機を破損させるおそれがあります。



注意

- ◎ 付属のシーリングチェックカードを良くお読みになり、ご使用前に必ず点検をおこなってください。
- ◎ 作動中は作動音が発生しますので、使用者は耳栓をお使いください。
- ◎ 使用後は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてシーリングユニットに付いているバンド屑や粉等を、きれいに掃除してください。
- ◎ 落雷のおそれがあるときは、使用を中止し必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。落雷があると内部のICを損傷させる原因になります。
- ◎ 本機に置く品物は、質量80kg以下にしてください。
- ◎ 本機に品物を置くときは、落下等の大きな衝撃を与えないでください。
- ◎ 本書に記載のない作業方法・材料・工具等を、用いないでください。

警告ラベル/各部の名称と役割

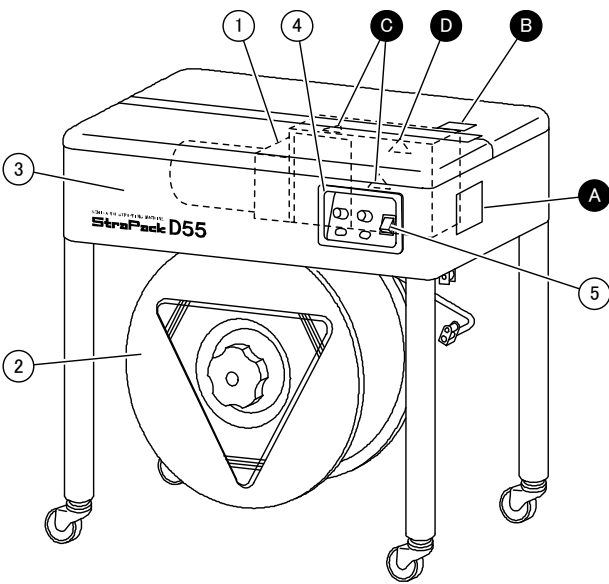
警告ラベル

警告ラベルの配置およびそれらの示す危険の内容を以下に説明します。

警告ラベルをよくお読みになり安全のために必ずお守りください。

警告ラベルが取れてしまったり、損傷したり、読めなくなったときは、新しい警告ラベルを同じ位置に貼付けてください。

各警告ラベルのご注文は、最寄の代理店または弊社営業所にお問い合わせください。



A ▲ 注意 ● 機械に付属の取扱説明書をお読みください。 ● 電源プラグを抜き、電源スイッチを『切』にしてから作業してください。 ● 電源プラグを抜き、電源スイッチを『切』にしてから作業してください。 ● 電源プラグを抜き、電源スイッチを『切』にしてから作業してください。 ● 電源プラグを抜き、電源スイッチを『切』にしてから作業してください。	一般的警告(注意) 本書を、よくお読みになりよく理解してください。 上面テーブルを外すときは、電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。修理・調節時は、電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。警告マークの指示は必ず守ってください。	C ▲ 感電危険	電装部についての警告(感電危険) 修理・調節のときは必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。電源スイッチが『入』で制御ボックス・各トランスに手を触れると、感電の原因になります。また、被膜が破損した電源コードに身体が接触すると、感電の原因になります。
B ▲ 注意 ● 起動後速やかにバンドから手を放してください。	梱包作業時の注意(注意) 機械起動後、速やかにバンドから手を放してください。品物とバンドに挟まれて、けがの原因になります。	D ▲ 高温注意	ヒーターに関する警告(高温注意) ヒーターは高温(約400℃)です。直接ヒーターに手を触れると火傷します。電源スイッチを『切』にして、ヒーターが冷えるまでしばらく時間が必要です。

各部の名称と役割

- ① シーリングユニット バンドを締付けて、切断及び接着を行う装置です。
- ② リールユニット バンドコイルを保持して、回転慣性を自動制御する装置です。
- ③ ボディユニット 機械を支える骨組、外板などから構成されています。
- ④ 電装グループ 操作ボタン・スイッチ等の電装部です。
- ⑤ 電源スイッチ 主電源スイッチです。『入』にすると機械に電気が供給されます。

操作スイッチの説明

- ① 電源スイッチ

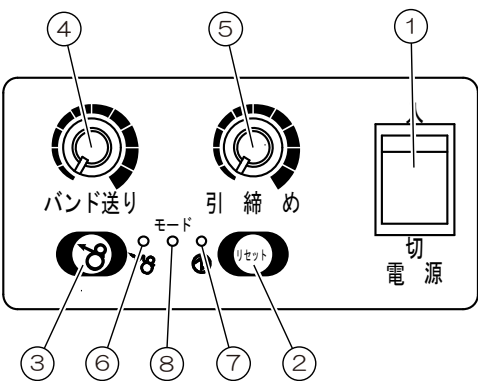
電源の「入」「切」をします。
- ② リセットスイッチ

スイッチを押すと、機械内部のシーリングユニットが定位置（原点）に進み、設定された量のバンドを送出します。
- ③ バンド送りスイッチ

スイッチを押しているあいだ、バンドを送出します。バンド量が足りないとき、必要な長さになるまで押してください。
- ④ バンド送りダイヤル

梱包後、送出すバンドの長さを設定します。品物の大きさにより、調節してください。
- ⑤ 引締めダイヤル

品物を締付ける力を、設定します。品物の種類・大きさ等により、適度に調節してください。
- ⑥ バンド詰まり表示ランプ「表示ランプの説明」参照
- ⑦ 電源表示・過負荷表示ランプ「表示ランプの説明」参照
- ⑧ ストロークモード表示ランプ「表示ランプの説明」「引締め方式の説明」参照



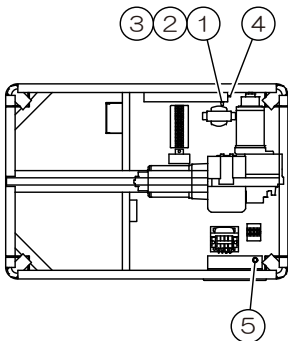
表示ランプの説明

表示		状態	処置
バンド詰まり表示ランプ	点灯	機械内部でバンド詰まり	バンドを引抜き、バンドの折れた部分を切捨て、再びバンドを通してください。バンドを抜いてもランプが消えない場合は、機械内部にちぎれたバンドが残っている可能性がありますので、部品を外して、取り除いてください。『詰まったバンドの除去』のページを参照してください。
	点滅	M1 モーターが動かない	電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いて端子の取付を点検します。カム軸に異物の噛み込みが無い点検し、電源スイッチを『入』にしてリセットスイッチを押してください。
電源表示・過負荷表示ランプ	点滅	M2 モーターが動かない	電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いて端子の取付を点検します。シーリングユニットのローラー部に異物の噛み込みが無い点検し、電源スイッチを『入』にしてリセットスイッチを押してください。
	点灯	ストローク引締めモードを示す	機械内部にある引締めモード切替えスイッチが「ストローク方式引締め」に設定されています。「トルク方式引締め」に設定すると、ランプは点灯しません。

機械内蔵ダイヤル等の説明

機械内部には調整・調節に使用するダイヤル等があります。
以下の説明をよくお読みになり、適度に調整・調節してください。

- ① ヒーター温度ダイヤル.....「ヒーター温度の調節」参照
- ② 最小引締め力ダイヤル.....「最小引締め力の調整」参照
- ③ 正転タッチ圧ダイヤル.....「正転タッチ圧の調整」参照
- ④ 引締めモード切替えスイッチ.....「引締め方式の説明」参照
- ⑤ ヒューズ・容量表示ラベル.....「ヒューズの説明」参照



ヒューズの説明

過電流による事故防止のためにヒューズを機械内部の操作パネル裏付近に設けています。

ヒューズ溶断時には、電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いて、下記仕様のヒューズと交換してください。

電源電圧	ヒューズ名称	寸法	容量
100V	普通溶断型ガラス管ヒューズ	φ6.4×30	250V 8A

引締め方式の説明

引締め方式を「トルク方式」または「ストローク方式」に選択することができます。品物に合わせて引締めモード切替えスイッチで選択してください。「ストローク方式」を選択すると、正面操作パネル上の「モード」表示ランプが点灯します。

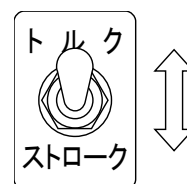
本機出荷時は「トルク方式」(切替えスイッチレバー上方)にセットされています。

【トルク方式】

- ・ 操作パネルの引締めダイヤルで設定した「力」で引締めます。
- ・ 品物の大きさ(周長)が変わっても、引締め力は変わりません。
- ・ 中～強締めに、向いています。

【ストローク方式】

- ・ 一定の力で、操作パネルの引締めダイヤルで設定した「長さ」を引締めます。
- ・ 弱～中締めで同じ大きさの品物を梱包すると、梱包時間が短くなります。
- ・ 超弱～弱締めに、向いています。



バンドコイルのセット

⚠ 警告

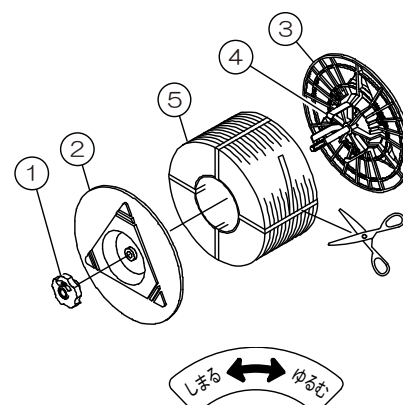
バンドコイルのセットを行うときは、必ず電源スイッチを『切』にしてください。

⚠ 注意

バンドの種類・幅が機械仕様と一致していることを確認してください。

- 「バンドコイル」⑤は結束紐(バンド)で結束したままの状態でセットしてください。

1. 「リールナットハンドル」①を右(時計方向)に回して外し、「リールアウトサーキュラー」②を外します。
2. 「バンドコイル」⑤のバンド端部を左巻き(反時計方向)にして、「リールインサーキュラー」③の「センターガイド」④(3本の爪)に差し込んでください。
3. 「リールアウトサーキュラー」②で「バンドコイル」⑤をはさみ、「リールナットハンドル」①を左(反時計方向)に締め付けて固定してください。
4. 「バンドコイル」⑤を結束してある紐(バンド)を切ってください。



バンドの通し方/バンドの抜き方

警告

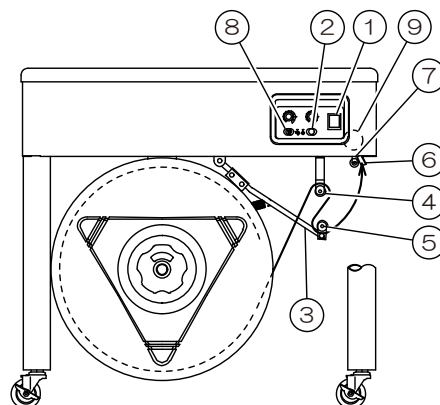
電源プラグのアースは、必ず接続してください。

警告

バンドが機械内部に引込まれ始めたら、バンドからすばやく手を放してください。

バンドの通し方

1. 電源プラグをコンセントに差込んでください。
 2. 操作パネルの「電源スイッチ」①を『入』にして、「リセットスイッチ」②を押してください。機械が作動し、定位置(原点)で止まったことを確認してください。
 3. 「ブレーキアーム」③を持上げ、バンドを約 1m 引出してください。
 4. バンドを「ローラー」④に通し、次に「ブレーキアーム」③の「ローラー」⑤に通してください。
 5. バンドを「バンドガイド」⑥と「ローラー」⑦の間を通し、「バンドガイド」⑥に沿わせて、先端が機械内部の「フィードローラー」⑨に突当たるまで、差込んでください。
 6. 差込んだバンドを軽く押付け、操作パネルの「バンド送りスイッチ」⑧を押してください。
これでバンド通しの完了です。
- バンドは「バンド送りスイッチ」⑧を押しているあいだ、出つづけます。



バンドの抜き方

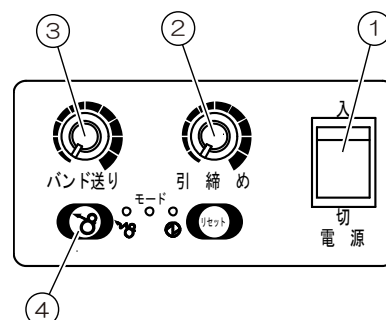
1. 「電源スイッチ」①を『切』にして、電源プラグを抜いてください。
2. 「バンドガイド」⑥の下側からバンドを引抜いてください。

操作方法

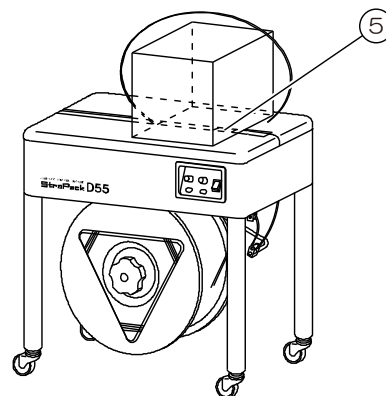
警告

バンド先端をバンド挿入口⑤に差込むと、自動的にバンドが機械内部に引込まれます。引込み始めたら、バンドからすばやく手を放してください。手や指がバンドと品物に挟まれて、けがの原因になります。

1. 「電源スイッチ」①を『入』にしてから、約 30 秒でヒーター温度が上昇し、運転準備完了です。
 2. 「引締めダイヤル」②で、品物を締付ける力を調節します。品物の種類・大きさにより、適度に調節してください。
- ・ 締付ける力を強くする……………右に回す(時計回り)
 - ・ 締付ける力を弱くする……………左に回す(反時計回り)
- 品物を傷つけないよう、最初は弱めに調節して、一度梱包してから適切に調節してください。



3. バンド先端を持ち、「バンド挿入口」⑤に差込むと機械が作動します。梱包の一工程を終え、「バンド送りダイヤル」③で調節した量のバンドが出てきます。品物に適したバンド送りの長さを「バンド送りダイヤル」③で調節してください。
- ・ バンド送りの長さを長くする………右に回す(時計回り)
 - ・ バンド送りの長さを短くする………左に回す(反時計回り)
 - 品物の大きさ(周長)より 200mm 程度、足した長さを標準としていますが、使いやすい長さに調節してください。
 - 一時的にバンド送りの長さが足りないときは「バンド送りスイッチ」④を押して補ってください。



ヒーター温度の調節

警告

調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。

警告

ヒーター部は高温です。電源スイッチを『切』にしてもしばらく熱が残りますので、冷めるまで触れないでください。

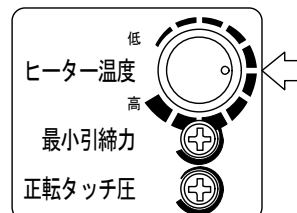
注意

荷扱いの安全のため、別紙シーリングチェックカード(接着状態と解説)を参照して、適度なヒーター温度に調節してください。

【ヒーター温度調節】

ヒーター温度は出荷時に調節していますが、気候・地域・設置場所等で変わります。シーリングチェックカードを参照して接着状態を確認し適度なヒーター温度に調節してください。機械内部の「ヒーター温度ダイヤル」を回して調節してください。

- ・ 温度を高くする………右に回す(時計回り)
- ・ 温度を低くする………左に回す(反時計回り)
- 外気温の低いところではダイヤルを高めに、高いところでは低めに調節してください。



【バンドの種類に伴う温度調節】

本機は標準的な PP バンドに合わせて温度を調節し出荷していますが、バンドの種類により調節する必要があります。(例: 発泡バンド、薄バンド等は低めに調節)

【長期間使用時の温度低下】

長期間使用していると、バンドの種類によってヒーター表面に「バンドの燃えカス」が付着し、温度が低下する場合があります。

ヒーター温度ダイヤルの調節で補えないときは、電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜き、ヒーターが冷めてから平たい刃物で「バンドの燃えカス」を掃除してください。

掃除後、ヒーター表面温度は高くなりますので、適切なヒーター温度に再調節してください。

⚠ 警 告

調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。

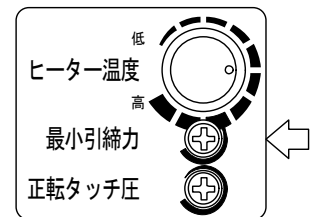
最小引締め力の調整

最小引締め力は出荷時に調整していますが、電源電圧低下等に伴う「弱締め」時の「途中結束」(バンドが品物に巻付かずに接着する)が起きるとき、「弱締め」をしたいときも調整が必要です。また、この調整は【トルク方式】、【ストローク方式】のどちらも行ってください。

【トルク方式の調整方法】

機械内部の「最小引締め力ダイヤル」を調整してください。

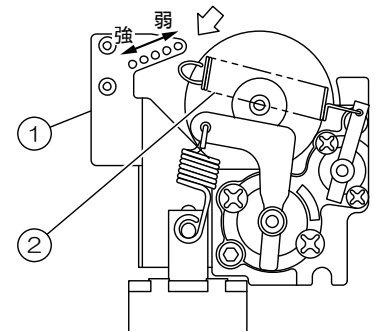
- ・ 「途中結束」が発生する(強く)…………… 右に回す(時計回り)
- ・ さらに「弱締め」をしたい(弱く)…………… 左に回す(反時計回り)
- ダイヤルはゆっくり回してください。



【ストローク方式の調整方法】

「プランジャーガイド」①のスプリングフック穴より「スプリング」②を外し、適度な穴に掛け直してください。

- ・ 「途中結束」が発生する…………… 強くする
- ・ さらに「弱締め」をしたい…………… 弱くする

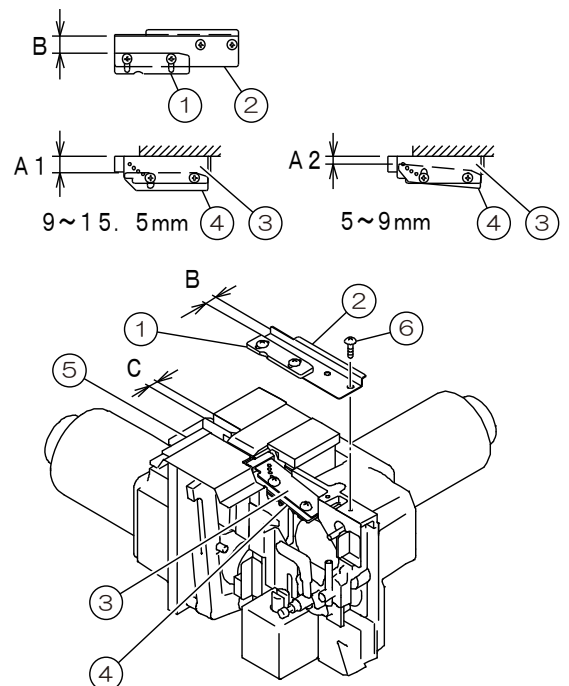


使用バンド幅変更に伴う調整

使用するバンドの幅を変更するときは、下記の調整が必要です

【調整方法】

1. 「ライトバンドガイド」①・「ライトバンドガイドプレート」②を組んだまま、外してください。
2. 「フィードシューターアッパープレート」③のネジをゆるめ、挟まれた「フィードシューターガイド」④を動かし、バンドが通る溝幅(A1・A2 寸法)をバンド幅+1~2mm に調整して固定してください。
3. 「ライトバンドガイド」①のネジをゆるめ、バンドが通る溝幅(B 寸法)をバンド幅+0.5~1mm に調整して固定してください。
4. 「レフトバンドガイド」⑤のネジをゆるめ、バンドが通る溝幅(C 寸法)をバンド幅+1~2mm に調整して固定してください。
5. 「ライトバンドガイド」①と「ライトバンドガイドプレート」②を「固定ネジ」⑥で固定してください。
- 電源コードのプラグをコンセントに差込み、電源スイッチを『入』にして、何度か梱包を行い接着ズレの確認をして、ズレが大きいようであれば「固定ネジ」⑥をゆるめ、前後に動かして適切な位置に調整してください。



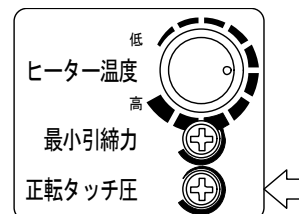
⚠ 警 告

調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。

正転タッチ圧の調整

バンドの種類により、送り出されたバンドが波状に変形することがあります。この場合は下記の調整が必要です。機械内部の「正転タッチ圧ダイヤル」を調整してください。

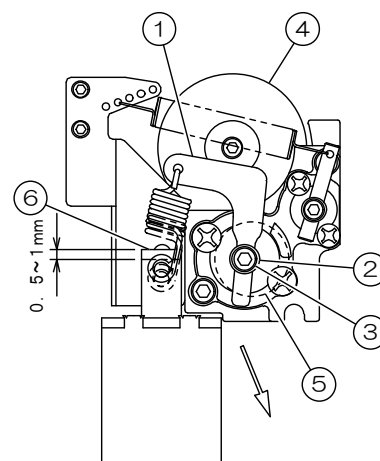
- ・ バンド送りの圧力を強くする …………… 右に回す(時計回り)
- ・ バンド送りの圧力を弱くする …………… 左に回す(反時計回り)
- ダイヤルはゆっくり回してください。
- タッチ圧を下げすぎると、スリップを起こしバンドをリールから引出せないことがあります。



逆転タッチ圧の調整

「強締め」状態で長期間使用すると、フィードローラーがスリップを起こし、バンドを擦切ってしまうことがあります。このときは、下記の調整が必要です。

1. 上面のテーブルを、外してください。
2. 「アッパーローラーシャフトアーム」①を持ち上げて、バンドを矢印方向に抜いてください。
3. 「アッパーローラーシャフト」②と「アッパーローラーシャフトアーム」①の「固定ボルト」③をゆるめ、「フィードローラー」④と「アッパーローラー」⑤(バンドが無い状態で)を軽く接触させ、「ソレノイドプランジャー」⑥が 0.5～1.0mm 浮く(上部を指で押して、底に着くまでの範囲)ように、調整してください。
- ・ バンドの締付けを強くする場合…………… 1.0～1.5mm
4. 「固定ボルト」③で固定してください。
- バンド逆転時に「ソレノイドプランジャー」⑥が底(ストロークエンド)まで引込まれていることを確認してください。

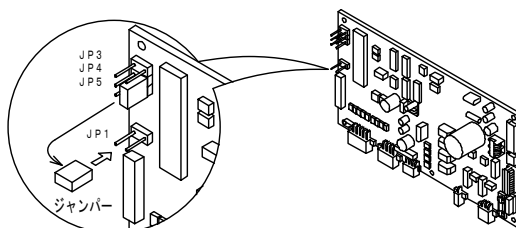


溶着時間延長の説明

⚠ 注 意

【ジャンパー】を戻すときは、必ずもとの位置に挿してください。他に挿すと誤作動を起こし、機械が破損するおそれがあります。

弾性(反発力)の強い品物を梱包し、バンド溶着部がはじけるように剥離するときは、制御基板上の「JP3,4,5」に装着の【ジャンパー】を外し、「JP1」に挿してください。さらにヒーター温度を若干高く調整してください。加圧時間を延ばし、より強力な溶着が得られます。



詰まったバンドの除去

警告

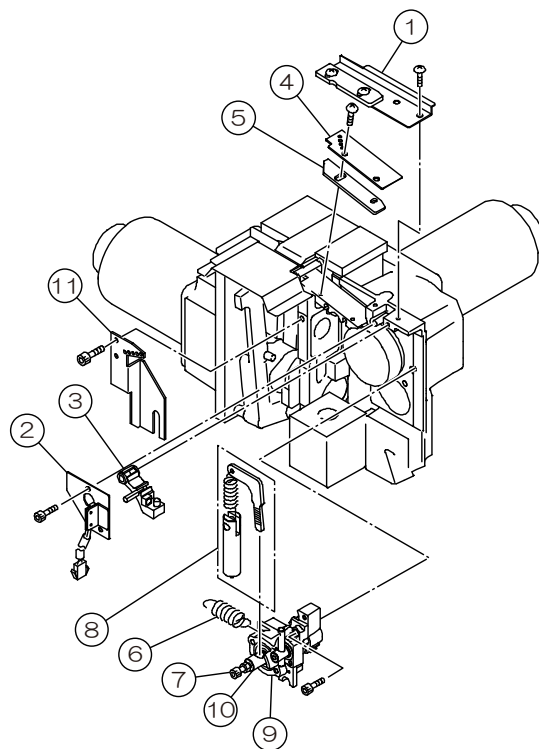
調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。

注意

作業中LS2・LS5センサーを破損しないよう充分に注意してください。

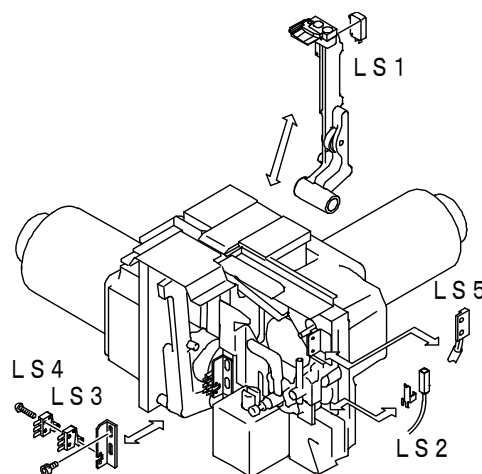
機械内部にバンドが詰まり、機械が停止(バンド詰まりランプ点灯)したときは、下部バンド挿入口より強く引抜いてください。
除去できなかったときは、下記の要領で分解し、詰まったバンドを取除いてください。

1. 上面のテーブルを、外してください。
2. 「ライトバンドガイドプレート」①、「LS5 ブラケット」②、「アッパーシューター」③、「フィードシューターアッパープレート」④、「バンドガイド」⑤を外すと、バンド詰まり部分が露出しますので、詰まったバンドを取除いてください。
 - ローラー部にバンドが詰まり除去できないときは、続けて下記の要領で分解し、詰まったバンドを取除いてください。
3. 「タッチローラーズプリング」⑥を、外してください。
4. 「固定ネジ」⑦をゆるめ、「アッパーローラーシャフトアーム、タッチスプリング、プランジャー」⑧をセットで外してください。
5. 「アッパーローラーシャフトホルダー」⑨の「シャフト」⑩を左右に回しながら、左方向にずらし、手前に引抜いてください。
 - 詰まったバンドを取除いたら、分解手順と逆の手順で組立てください。



機械内蔵スイッチの説明

- | | |
|-------------|---|
| LS1(起動) | : バンド先端でこのスイッチを押して機械を起動させます。 |
| LS2(バンドパルス) | : ストローク引締めのときに、品物に巻付いたことを検知します。
バンド正転のときに、バンド長さを検知します。 |
| LS3(タイミング) | : 梱包サイクルにおいて、引締め・バンドカット等のタイミングを検知します。 |
| LS4(原点) | : シーリングユニットのカム軸原点を検知します。 |
| LS5(バンド詰まり) | : シーリングユニット内部のバンド詰まりを検知します。 |



故障かな？と思ったら

警 告

調節・調整の際は、必ず電源スイッチを『切』にして、電源プラグを抜いてください。

- 万一、トラブルが発生しましたら以下の項目をご確認ください。それでも故障が直らないときは、本機ご購入の代理店または弊社アフターサービス係までご連絡ください。

現象	原因	対策
バンドを挿入口に差込んでも機械が作動しない。	・電気が流れていない。 ・ヒューズの切断や外れ。	・電源点検。電源ケーブルの点検。 ・『ヒューズの説明』のページを参照してください。
接着しない、又は接着力が弱い。	・ヒーター温度設定の不適正。 ・梱包する品物に対して引締め力が強すぎる。	・『ヒーター温度の調整』のページを参照してください。 ・引締めダイヤルを左に回して締付ける力を弱くしてください。
弱締めするとき、バンドが途中結束する。	・最小引締め力の調整が不適正。	・『最小引締め力の調整』のページを参照してください。
機械内部にバンドが詰まった。(バンド詰まりランプ点灯)	-	・『詰まったバンドの除去』のページを参照してください。

保証／保険／アフターサービス

● 保証書について

所定の検査に合格したストラパック梱包機をお届けいたしました、万一の事を考え次のとおり保証いたします。

(1) 保証期間は買い上げの日から1年間といたします。

(2) 保証期間内の修理は無償でさせていただきますが、特別な場合は保証規定にもとづき有償となります。

保証書を熟読されたうえ大切に保管し、修理の時にご提示ください。保証書は、このたびお買い上げいただきました製品が万一故障した場合に、保証期間内無料サービスのために必要です。

● ストラパック《火災・盗難ご安心保険》について

《火災・盗難ご安心保険》御申込書は必要事項をご記入のうえ、ピンク色の御申込書のみをご返送ください。御購入後1年のうちに、火災・盗難等にあわれた場合、無償にて修理または交換させていただきます。御申込みのない場合には保険の加入、保証登録が来ず無効となりますのでご注意ください。

● アフターサービスを依頼されるとき

アフターサービスは、本機をお買い上げいただきました代理店に本機の「購入年月日」「機種」「機械番号」および故障状態を詳しくご連絡のうえ、お申しつけください。

ストラパック株式会社

<http://www.strapack.co.jp/>

・本社	〒104-0061	東京都中央区銀座 7-16-14 銀座イーストビル 5F	TEL.03-6278-1801	FAX.03-6278-1800
・営業企画室	〒115-0051	東京都北区浮間 3-14-4	TEL.03-3965-5211	FAX.03-3965-4913
・札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通り東 9-1 みきビル	TEL.011-241-6335	FAX.011-222-3728
・旭川 SSP	〒078-8220	旭川市十条通 22-1-12	TEL.0166-34-9597	FAX.0166-34-9534
・仙台支店	〒984-0001	仙台市若林区鶴代町 2-11	TEL.022-232-7459	FAX.022-231-0779
・酒田 SSP	〒998-0864	山形県酒田市新橋 5-12-20	TEL.023-423-3512	FAX.023-423-3583
・郡山営業所	〒963-8052	福島県郡山市八山田 4-125	TEL.024-938-7210	FAX.024-932-2977
・青森 SSP	〒038-0004	青森市富田 2-27-12	TEL.017-766-7991	FAX.017-781-7519
・東京支店	〒115-0051	東京都北区浮間 3-14-4	TEL.03-3965-6181	FAX.03-3558-0240
・東京東支店	〒279-0002	千葉県浦安市北栄 3-34-19	TEL.047-353-6868	FAX.047-353-6880
・東京西支店	〒221-0864	横浜市神奈川区菅田町 2800	TEL.045-475-7260	FAX.045-475-2260
・横浜支店	〒221-0864	横浜市神奈川区菅田町 2800	TEL.045-475-7201	FAX.045-475-7247
・甲府 SSP	〒400-0857	山梨県甲府市幸町 13-21	TEL.055-232-6405	FAX.055-232-6404
・高崎支店	〒370-0801	群馬県高崎市上並榎町 113-1	TEL.027-370-2181	FAX.027-370-2026
・名古屋支店	〒463-0032	名古屋市守山区白山 1-1003	TEL.052-769-0251	FAX.052-769-0261
・北陸 SSP	〒921-8015	石川県金沢市東力 4-97-10	TEL.076-292-6027	FAX.076-292-0247
・静岡営業所	〒425-0071	静岡県焼津市三ヶ名 382-1	TEL.054-628-1315	FAX.054-628-2025
・大阪支店	〒555-0001	大阪市西淀川区佃 5-5-2	TEL.06-6473-7241	FAX.06-6473-7236
・関西支店	〒555-0001	大阪市西淀川区佃 5-5-2	TEL.06-6473-1622	FAX.06-6473-1625
・岡山営業所	〒700-0975	岡山市北区今 8-13-17	TEL.086-244-4112	FAX.086-243-3470
・高松支店	〒762-0024	香川県坂出市府中町 5573-6	TEL.0877-48-2114	FAX.0877-48-2142
・広島支店	〒734-0023	広島市南区東雲本町 2-10-28	TEL.082-282-3011	FAX.082-283-9210
・福岡支店	〒818-0131	福岡県太宰府市水城 3-12-34	TEL.092-921-3400	FAX.092-925-2332
・鹿児島営業所	〒891-0113	鹿児島市東谷山 5-4-1	TEL.099-267-5666	FAX.099-266-1205
・沖縄 SSP	〒901-2126	沖縄県浦添市宮城 3-10-1 SK ニューコーポ B102	TEL.098-879-4515	FAX.098-879-4515

代理店

- 取扱説明書の内容には万全を期していますが、万一不明な点、誤り、記載もれ等ございましたら、お問合せください。
- 取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 所在地は、予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。